

北九州市民の会ニュース

さよなら原発!3・11北九州集会 音楽と講演の夕べ

東日本大震災と東京電力福島第一原発の事故から10年を迎えました。死者・行方不明者、関連死を含めた犠牲者は2万2200人にのぼります。避難生活を余儀なくされる人はピーク時の47万人から減ったものの、なお

8万人を超えます。あらためて犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災者のみなさんにお見舞い申し上げます。

さよなら原発!3・11北九州集会実行委員会主催で、3月11日18時20分から「福島原発事故10年 音楽と講演の夕べ さよなら原発!3・11北九州集会」が小倉北区ソレイユホールで開かれました。

参加者は500人前後でしたが、コロナ禍の中、マスク着用、検温、消毒など万全のコロナ対策をおこなうなど参加者の健康を気遣う集会として大きな成功を収めました。



(堀田和夫氏FBより)

東日本大震災10年

10年前の3月11日午後2時46分、東北沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が、岩手、宮城、福島の3県をはじめ東日本を襲いました。大津波は沿岸部に壊滅的な被害を与え、制御不能に陥った東京電力福島第1原発は過酷な事故を起こしました。

史上例のない複合災害となった東日本大震災の傷はあまりに深く、原発事故の収束は見えません。被災地では懸命な復興への努力が続いていますが、コロナ感染の影響が新たな困難をもたらしています。被災者の暮らしと生業の再建のため、これからも支援を継続し強化をはかることが政府の役割です。津波にのみ込まれた地域の被災直後の惨状は、すっかり変わり、整地されました。

一方で、かさ上げなどが完了した場所では空き地が目立ちます。復興が進まない現実が示されています。多くの被災者は、暮らしも生業も被災前の水準を取り戻せていません。時がたつにつれて震災直後と異なる苦難に直面している人が少なくありません。被災者中心の復興が貫けていないからです。長期化する原発事故被害では国と東電は賠償や地域再生などで最後まで責任を果たすべきです。

東日本大震災は、大量の帰宅難民や広範囲の液状化被害など都市部の災害への脆弱性も浮き彫りにしました。震災後の10年も地震、水害など大災害が相次いでいます。コロナ禍も感染症に弱い政治・社会の現状を際立たせました。「想定外」で再び悲劇を招いてはなりません。国民の命と安全を守り抜く政治の実現は焦眉の課題です。

(赤旗主張より抜粋)

平和と暮らしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel 093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com





国際女性デー北九州集会

女性議員や新婦人の会がリレートーク

2021年国際女性デー北九州実行委員会は、「一人で悩まずつながろう！いのち・暮らし・雇用・営業を守れ！改憲NO！核兵器禁止条約への参加を！世界の女性と手をつなぎ、平和、ジェンダー平等へ！」をスローガンに2021年国際女性デー北九州集会を開催しました。

小倉駅デッキで3月7日（日）13時から取り組まれ、北九州市内の女性80人が参加し、プラカードやゼッケンを付けスタンディング。女性議員や新婦人の会の役員などがリレートーク。華やかの中に平和を愛する気持ちのこもった集会になりました。通行していた方が、「女性がこれだけ集まるとものすごい力を感じる」と話しながら通って行かれました。

最後は、参加者全員で記念写真。
(堀田和夫氏FBより)



(写真) オンラインで開催された
国際女性デー中央大会=8日

国際女性デー中央大会 オンライン開催

ジェンダー平等へ転換を

国際女性デーの8日、全国各地で平和やジェンダー平等の実現を目指し世界の女性と連帯しようとアピール行動や集会が開かれました。2021年国際女性デー中央大会は、「ひとりで悩まずつながろう！いのち・暮らし・雇用・営業を守れ！改憲NO」などのスローガンを掲げ、コロナ禍でオンラインで開催されました。
(しんぶん赤旗より)

市政懇談会開かれる

日本共産党市議団は、1月31日投票の市議選で改選時と同じ8議席という少し残念な結果に終わりました。2月24日に改選後最初の市議会が招集され、議長の選出、常任委員の選出などが行われ、3月4日から本格的な2021年予算案などの審議が始まります。

日本共産党市議団から、2021年予算案審議の前に多くの市民の意見、要求などをききとり市民の立場に立ってコロナ対策の抜本的強化、高齢者福祉乗車券の実現、35人学級の実現など公約実現に全力を尽くしていくために「市政懇談会」を2月27日14時から商工貿易会館2階ホールで開催しました。コロナ禍の中、112人の方が参加しました。

懇談会は、山内（若松区選出）議員の司会で始まり、荒川市議団団長から当選議員の紹介、引退された石田、田中前議員の紹介・挨拶の後、10月までに戦われる衆議院選挙の田村貴昭衆議院議



員、真島省三前衆議院議員から挨拶を受けました。2月定例議会に臨む市議団方針などについて新しく議員団長になった荒川（戸畑区選出）議員が詳しく提案・報告しました。報告を受けての質問や意見は、多くの参加者から次々に手が上がり発言が続きました。質問意見に対して、関係議員から懇切丁寧に説明がありました。閉会の言葉は、藤沢（小倉南区選出）議員が行いました。
(堀田和夫氏FBより)